

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

エコパーク湖北の防災への備え

このたび発生いたしました地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

市民の皆様の安心・安全な暮らしを守るため、現在整備を行っている本施設においても、万が一の大規模地震に備えた構造・設備の整備を行っています。

今回は施設の耐震性や防災機能についてご紹介します



1

建物の構造と災害時の運転について

▶被害を最小に抑えて早期に復旧・稼働

●各棟の最適構造

→地震の揺れに耐えるため、ごみピットなどの重要部位は**鉄筋コンクリート（RC）造と鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）造**を組み合わせ強度を確保しています。

●一般的な公共施設の基準を上回る高い耐震性能

→大地震後も、構造体の大きな補修をすることなく、使用ができ、人命の安全確保に加え、十分な機能確保を図った設計を行っています。

●プラント設備の安全・二次被害防止

→施設内部の精密な機械装置についても、**強靱化**を図ります。また、感震器と連動して自動で焼却炉を立ち下げる「**プラント非常停止システム**」を導入し、二次被害を防止します。

▼ごみピット：鉄骨と鉄筋を組み合わせた構造



鉄骨鉄筋コンクリートは、地下構造物や病院、庁舎などの大規模な公共施設で使われる**非常に頑丈な構造**です



2

災害時における防災機能について

▶地域の防災拠点として地域の安全を確保

●自立稼働

→停電時は、「非常用発電機」により、施設を稼働させ、その後は「ごみ発電」により、施設は動き続けます（自立稼働）。また、避難所に必要な空調、照明、携帯電話の充電環境を確保します。

●避難所機能

→管理棟、会議室を活用し、**300名分の避難場所を確保**しています。また、小会議室、授乳室は個室として提供し、**避難者のプライバシーに配慮**します。

【最後に】

施設供用後の安全な運転管理はもちろんのこと、完成に向けた工事工程においても、周辺地域の安全確保と徹底した品質管理に努めております。今後も市民の皆様の安心・安全を支える拠点となるよう、安全第一で施設整備を進めてまいります。

▼災害廃棄物ストックヤード(約 14,000 m²)を整備しています